

4月は雑誌月間です
THE WEEKLY REPORT

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



2012-2013

Mitsukaido R.C

50th Anniversary

2012-2013 年度 RI会長
田中作次

次回例会予定 4月24日 地区大会振替
5月1日

VOL. 50 No.34(通算No. 2355)

2013年4月10日(水)例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
外部卓話

つくばみらい市長 片庭正雄様



写真提供:石塚克己会員

2012-2013年度

会長 青木正弘

幹事 石塚克己

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875 Fax.0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>



4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.50 No.33 (No.2354) 4月10日(水)曇り (司会 倉持功典委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆会員卓話

海老原良夫会員

誕生祝

《ご夫人》熊谷会員

委嘱状伝達



2820地区 2013-2014年度

国際奉仕委員会 世界社会奉仕委員長

2012-2013年度

地区大会決議委員

瀬戸隆海会員

諸報告

50周年実行委員会 熊谷 昇総務委員長

人数集約(4月10日現在) 出席者 160名くらい

今月の委員会日程

4月17日(水)・・・総務・渉外委員会 報国寺にて

4月24日(水)・・・副実行委員長・委員長会議 生涯学習センター会議室

5月15日(水)、22日(水)は、例会時に50周年の時間を頂きました。

ツウンバシティRC、ツウンバ北RCより来訪者からのお礼メール

こんにちは。私と夫のグラハムは貴クラブの温かなおもてなし、駅までの出迎えや例会場への車での送り迎えをしていただきましたことに感謝します。

不思議なことに東京に着く頃は太陽が照り出しましたが、たとえ雨でも水海道の市街地や電車からの眺めを楽しむことができました。

今日(4日)は明治神宮と庭園を訪れ、東京の娘家族のもとに戻りました。

明日(5日)にオーストラリアに戻ります。

水海道ロータリークラブの例会に参加でき、本当に楽しい日本滞在でした。ツウンバにお越しの際はお会いできることを楽しみにしています。

また素晴らしき水海道ロータリークラブメンバーとご家族との再会にも！

感謝

Cheryl

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

幹事報告 石塚克己幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

次の米山奨学生は、徐佳鋭さん(ジョカエイ)です。

理事役員会報告

1. 千姫祭り(5月12日)協賛金について……例年通り 五万円
2. つくばシティロータリークラブ20周年記念式典(5月12日)出席について……会長・幹事出席
3. 平成25年度青少年育成常総市市民会議総会(4月21日)出席について……会長出席
承認されました。

会長挨拶 青木正弘会長



ご挨拶申し上げます。この時期特有の寒暖を繰り返し木芽時を向かえる今日この頃です。先日行われた地区のゴルフにはお忙しい中8名の方々に参加頂き有り難うございました。また50周年式典に向けて実行委員会の方もエンジンがかかり連日委員会が開催され準備も進んでいることに期待も膨らみます。さて日本の近隣国では、ヤンチャ坊主が騒いだり、鶏インフルエンザで人が死んだりと日本の安全は守られるのかと心配になりますが、3.11以後の原子炉も放射線の問題から大きな心配ごとの1つですが、最近でも冷却水漏れ等も起こり元の姿に戻るのには気の遠くなるような時間とお金が必要のよう

です。茨城県と原子力との関係は日本初の原子力研究所が東海村に作られたところから始まります。昭和31年6月、財界主導で設立され原子力の研究を推進していた財団法人日本原子力研究所は、原子力基本法に基づき政府が監督する「特殊法人日本原子力研究所」として生まれ変わりました。同年8月10日、茨城県那珂郡の東海村で研究用原子炉の1号炉起工式が行われ、以後急ピッチで研究施設を建設しました。翌昭和32年7月に「東海研究所」が設置され、原子力関連の研究組織がこの地に結集されて行きました。

研究所の立地場所が東海村に決定するまでには複雑な経緯があり、候補地は、神奈川県横須賀市の武山、群馬県の高崎、同じく群馬県の岩鼻、そして水戸の4か所でした。

選定の基準となったのは、東京からの距離、敷地の広さ、原子炉に使用する冷却用水確保、地勢および地質といった点で、アメリカにおける選定実績なども参考にしうえて原子力委員会に報告され、候補地として名前が挙がった各地の自治体は激しい誘致合戦を展開しました。なかでも当時米軍基地として接収されていた神奈川県の武山は第1候補と目されていましたが、誘致を狙う他地域の地元国会議員による思惑もからみ、候補地選びは暗礁に乗り上げ、このため政府閣僚懇談会により武山案は放棄され、東海村が研究所の敷地として選ばれました。東海研究所の研究1号炉は昭和32年8月27日に臨界に達し、日本で初めて「石炭・石油」「電気」に次ぐ第3の火が灯されました。平成17年日本原子力研究所は核燃料サイクル開発機構と統合され、独立行政法人日本原子力研究開発機構へと姿を変え、東海村に本部があります。

東日本大震災にともなう原発事故により原子力への風当たりは大変強いわけですが、同機構が進めているこれから世界が注目する放射性廃棄物の処理や原子炉の廃止措置に関する研究などは、今後ますます重要性を増すものと考えられます。

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

会員卓話 「先輩会員の遺稿を読んで」 海老原良夫会員



はじめに: 紀元前(クラブ創立以前)昭和26年『文化茨城』大75号に石塚峻・長岡健一郎の人物紹介記事あり。クラブ創立50周年の創世記を彩った先輩には、鬼籍に入った会員も少なくない。もはや遺稿の中でしか聞く事できない先輩からの「伝言」に耳を傾ける。

※五木田伊右衛門(明治43年2月13日生)は昭和58年『歴史みつかいどう』に「水海道体育協会のあゆみ」と題した玉稿を遺している。五木田は

①『**体育の歴史は、人間の生きてきた歴史である。スポーツ、ダンス、レクリエーション等の諸活動は、生きるための、生きる喜びを味わい、苦しみを和らげるものである。体育活動を通して、その時代の人々の営みを明らかにすることは、私たちの今日を、そして明日を如何に生きるかに対し、一つの示唆を与えてくれるに違いない。水海道体育協会が設立されてから六十有余年の歳月が過ぎ去ろうとしてする。私達の先輩が幾多の障害を乗り越え連綿として今日まで続いてきた足跡は、高く評価されると思う。と同時に、極めて複雑化した現代社会における体育協会の本来の在り方を問うとすれば、歴史の営みの中に本質と来なものがあると考え、敢えて筆をとった次第である。』として起筆、……中略……**

②『**若人の汗と涙、歓喜と栄光**そして青春の炎を灯したあの水海道グラウンドも、幻の如くわずか七年で、その幕を閉じたのである。あのグラウンドで活躍した人々の頭に去来するものは何であったか。』

……中略……

③『**体育活動は、人間自信のものであり、人間生活の営みの中で重要な位置を占めていることは疑いない事実である。高齢化社会を迎え、健康で明るく豊かな市民生活を築くことが時代の要請ならば市民ひとりひとりの健康に対する自覚はもとより体育協会の果たす役割も一段と厳しいものと受け止めている。』**として擱筆した。五木田はこの論文を遺してのち2年後の昭和60年6月23日没、享年75歳であった。

＝敬称略※

《平成委25年4月10日》五木田先輩が体育活動の本質を論じてから31年目の春が巡ってきた。かつて橋本町に建設され、幻の如くわずか7年でその幕を閉じた水海道グラウンド。今はもう、幻を語り継ぐ古老も少なくなっている。野球大会の優勝旗を寄贈した鍵屋呉服店は横町(現・栄町)大通りにあった。その家屋敷も縁の人も今は無く、北関東随一の呉服卸商と称された豪商をはじめ、明治、大正、昭和の時代に、この地を耕し続けてきた横町旦那衆のノブレス・オブリュージュの語り草だけが、かろうじて、息づいている

おわりに: 時代の空気や人々の思いを伝えた、先輩会員の遺稿は人生の機微と至言にあふれていた。ロータリアンとして、地域の各界の指導者として生きた諸先輩の人生を思えば言葉はがぜん、重くなる。

彼らの遺稿は私たちに深い省察に誘う。

《平成25年5月26日。泉下の先輩と次代を受け継ぐ後輩の耳目が集まる佳き日。》

出席報告 (石井康弘副委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メイク	出席率
55名	43名	12名	0名	12名	100.00%

ニコニコボックス (五木田裕一委員長)

入金計 ¥27,000 累計¥1,631,000

誕生祝御礼《ご夫人》熊谷会員

50周年実行委員会の皆様、連日ご苦労様です。 青木(正)会員

本日は入園式後礼服で例会参加になりました。所用で早退します。 石塚(克)会員

本日卓話をさせて頂くこととなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。 海老原会員

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

海老原会員、卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。 荒井会員
海老原様今日は宜しくお願ひ致します。来週休みます。すみません。 石井会員
海老原会員、本日卓話宜しくお願ひします。 五木田(裕)会員
早退します。 瀬戸会員
先週欠席しました。 熊谷会員
例会欠席しました。 草間・染谷(昭)・山野井 各会員
2週休みました。 小島会員
暫らく欠席しました。 中川会員

会報委員会 松崎隆詞委員長 五木田利明副委員長 高須 薫委員

イチバン

朋友ロータリアンの皆さん、ロータリーは、国際的な組織ですから、海外を訪れる時には、通常、英語で話します。とはいえ、私が英語の試験を最後に受けたのは大昔のことで、エバンストンでは、通常、日本人の通訳が付いています。会議では、一言一言を理解することがとても重要ですし、また、私が言うことを職員にしっかりと理解してもらうことも大切です。

自分の日本語を英語で聞く新しい経験

自分が話した日本語が、英語でどう表現されるのかを聞くのは、私にとってまったく新しい経験で、今でも興味深く感じています。英語で自分を表現する新しい方法を知り、また、日本語をまったく話さない人の感覚を少しつかめたような気がします。

しかし、一番興味深かったのは、会長エレクトになったばかりのころ、ロータリーの職員との会議をもった時のことでした。確実にコミュニケーションを取るため、日本人の通訳が一緒でした。私が日本語で話し、それを通訳に英語にしてもらいました。とても和やかで、実りの多い会議でした。

会議の後で、一人の職員が私のところに来て、次のように聞きました。「田中さんが日本語で、何度も“イチバン”という言葉に口をされましたが、“イチバン”とは一体、どのような意味なのですか」

何をもちたすことができたか

そこで私は、日本語でイチバンとは、哲学的な言葉でも、複雑な概念でもなく、単に一番、つまり「最善」であることだと、彼女に説明いたしました。

しかし、私は少し考えました。私はたくさんの言葉を使い、彼女もたくさんの言葉を耳にしたはずですが、その中で彼女が最も耳にした言葉が、「イチバン」だったのです。私は、自分が「イチバン」という言葉をそんなに多く使っているという自覚はありませんでした。しかし、ロータリアンとして、また国際ロータリーの会長としての役目を果たす上で、この一語、つまり「イチバン」であることは、自分にとってとても重要なのです。

私にとって、ロータリーの奉仕とは、まさに最善を尽くすこと、できる限りの「イチバン」になることを意味しています。自分のためではなく、人のために最善を尽くすこと、社会をよりよくするために、できる限り高い目標を持ち、それを達成することです。

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

和英辞書で「イチバン」の意味は「best」としか書かれていませんが、ロータリーでの「best」はほかの意味もあります。それは、あらゆる物事を、「超我の奉仕」の観点で見ること、私たちが「いくらお金をかけたか」ではなく、「何をもたらすことができたか」に目を向けることを意味しています。このように考えれば、もっとがんばろう、という気持ちが湧いてきます。ロータリーの奉仕が「イチバン」となること、すなわち「奉仕を通じて平和を」築くために、できる限りの力を尽くすことが私たちの仕事なのです。

SAKUJI TANAKA

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2011 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press **ロータリーの友**

ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
email hensyu@rotary-no-tomo.jp

2013－2014年度 RIテーマ



写真提供: 青木正弘会員